

夕刊東北新報

本紙は毎月二十日発行... 印刷部 印刷 電話 二二二

農家の持米手薄に加へ 收穫減を豫想された爲め

石城地方産米俄かに上る

僅々二日で一駄二圓騰貴

此の先は見當つかず... 米検査所談

九月下旬から何分高値の氣配にあつた石城地方の産米は果敢十月に入つてから一駄一圓高の二十一圓三十錢を示したが二日に至りまた一圓二十錢騰貴して二十二圓五十錢を唱へられるに至つたので米價は益々騰貴するものと見られ地方商人は買入れに奔走してゐるが右に就いて米穀物検査支所では語る

本年の稲は最初増收を豫想されたので農家では持米はどしどし手放したたそれが爲め最近では農家持米手薄となつたのに加へて増收は意外にも減收を傳へられたので結局中央市場の取引に刺戟されて騰貴したものと見られるが此の相場に就ては何時安値を示すか豫測は許されない

渡邊村の窮狀

チブス續發、達蠶等で

教員俸給も二ヶ月遅れ

石城郡渡邊村は本春同村鎮で多大の出資に困却し善後守諏訪神社の七ヶ年目の大祭を講じてゐるが納税の如祭に一村殆んど参加して多きは使丁や督促状では纏まらな祭典費を消費したる外から村長収入役が戸別に廻養蠶達蠶放棄加ふるに腸ちつて窮狀を訴へて漸くチブスの發生

支拂を續け教員給

十五名に及び現在三

名隔離舎に收容されてありと

荒井署長

眼病重症

平署長荒井市太郎氏は眼病で去月二十六日から欠勤自宅に於て治療中であるが餘程重症である

平町の秋季清潔

六、七の兩日執行

平町では次の如き日割で定例秋季清潔法を執行する事に決定した

- ▲六日 三、四、五町目 立
- ▲七日 正月町 彌宣町 鎌
- ▲八日 五色町 下川原
- ▲九日 月見町 新川町
- ▲十日 三倉町 南白銀町
- ▲十一日 鐵道官舎 大工町 仲間
- ▲十二日 九品寺前 手摺 番
- ▲十三日 柳町 四軒町 梅
- ▲十四日 大町 南町 小太
- ▲十五日 十五町目 田町
- ▲十六日 新町 長橋町 研
- ▲十七日 古鍛冶町 紺屋町
- ▲十八日 材木町 堂の前 鍛冶町

就職難は

更らに深刻

九月の就職状況 不景氣によつて多数の失業者を出すべく殊に自由労働者にとつて最大の脅威時代出現の形ち あるが平職業紹介所において九月中旬における自由労働者の動きを見るに求職者三十六就職三十八名で結局同所の手で職業にありつきかねたものは十八名ありその以前からの失業職者を合併すれば大体百名近くに上りその他同所の取扱ひを受けぬ失業者は夥しい模様であり而も九月は自由労働者の書き入れ時で幾何でも仕事はある時がある拘はらず失業者があふれに於ては更らに深刻に滯滞するであらうと

市内の木炭

幾分高値を示す

平町市内に於ける木炭の相なる尙濱三郡木炭同業組合場はこれからの需要期を控の木炭製産高も九月に入つて高騰氣味になつてきたて激増したが各製産者は準備に忙しく需要期を待つて現在の市價は

- ▲檜丸一俵九十錢▲檜割居る
- ▲檜丸一俵九十錢▲檜割居る

月賦販賣すると

言葉たくみに欺き

全部入質して生活に

白木呉服屋さん御難 石城郡磐崎村字藤原居北五軒の質屋に入質してゐた海道札幌市生利朝倉千代三のものでその入質額は約五百圓に上つてゐるので平署に同人を引致せんとした所逃走したので同人の行衛を捜したので現在のところ索中であるが現在のところ

反物を多数入質する ので平署刑事が怪しにとらみそれとなく様子を探索と果たせるかな同人は平町字堂の前吳服商白木源太郎方から月賦販賣をなすとて九月中數回に亘り反物數十點を後金にて仕入れ事實は

形式を 取り月賦額は仕入先に納めてゐるので犯罪構成上に疑問を興つてゐる同人は某職工の妻で斯くの如く巧妙なやり口は女に似合はず裏面に何者か教販賣をせずこれを警させしめたものがあるの

小學校の子供達から 八字ヒゲの親父迄 網羅される石城スポーツ野球 來る廿日頃開催の豫定

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

新吉爺さん 生不動なる 石城郡植田町小濱鈴木新吉(七七)は二日午後三時頃自

記者 高岡貞一 十月一日より本社編輯部員として入社しました此の段社告致します 東北日日新聞社

近日常樂館へ 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及んでゐた年中を通じて一番多い忘れ物

普通携帯する物が多い面白事には雨が降れば雨傘、カッパ類學校の通學時には教科書 インキ、辯當等がよく忘れられる。清酒一本、オシメ、御神札、供物等は珍らしかつた

誤つて

高坂のイネ女 石城郡内郷村大字高坂字立野居住安積郡白岩村大字長尾字内家生れ安吉妻渡邊イネ(四四)は去る一日午後三時半頃自宅座敷の西隅にある高さ六尺の棚に雨傘をある高さ一尺五寸長さ二尺八寸幅一尺八寸の机を踏物(紺屋高尾)を踏みながら

篠田實一行 浪界の巨匠篠田實一行は近日常樂館に來演するが艶物(紺屋高尾)などじみなた

市況 四倉南市場に於ける二日の取引状況及び取引買数は八九萬四千四百九十九で取引高は左の如し

- 高値 七〇、二四
- 安値 五〇、八一
- 買馴 六〇、八六

引取人のあつたものは僅か五十件にすぎず尙ほ四十四件は他購へ申出たもので廻送したが其の他は同驛に一週間保管し後は警察署の手に渡すのである現金の忘れ物としてはツブで十錢白銅一枚其の他で

金額の 最高は慕口入の三圓四錢であつたが合計八圓九錢に及

外科

外科一般
泌尿器科

×光線科

醫學士 海津俊一
院長 新妻由五郎
平町田町

赤心堂病院
電話七五番

入院隨應

常磐線平町四丁目花信
附屬品卸
自動轉車商
山光堂
葬儀社
電話五五〇番

特に勉強致します

セビロ
オーバ
トビ
中學通學服特賣

冬服
正札堂洋服店
平驛前通り

通學服
マント
コート

内外果實問屋
藤居商店
平町三丁目 電話五四三番

十月四日ヨリ特別大興行 錦秋の映画戦線に堂々巨弾を連ねて 陣容大く抜く頭角を獨り

本邦最初の聲響

蜂須賀水六

大活劇社會の大部分の費用と日時と犠牲を以て製作せる本邦最初のセーパトニ級

發聲映畫——正——完成

主演… 楠英二 櫻井京子 新妻四郎 回キング連載

勢伊崎 八王子 足利
優秀新柄銘仙陳列

秋冬物新柄特選
陳列と實用品特賣

★十月三日ヨリ七日間

仙友ニスモ尺着ニスモ
館新於 列陳柄新選入

三井吳服店

松竹提供 意氣昇る常勝將軍
阪東妻三郎 捲土重來の大活躍

銀蛇

宿命史 全

生必しも生ならず…死必しも死ならず冷れば氷山の如く熱すれば噴火の如く死の彼方に人生の意義と更生を求めて華と散る情熱兒の血涙記ではある

純真な演の乙女の心情を描く笑と涙の殉情詩
栗島すみ子が得意の情趣篇「青春の小徑姉妹篇」
海濱情詩 愛のゆく末 全

演に育つた娘として栗島すみ子獨特の境地を示す笑と涙に満ちた詩情豊かな一篇の海濱哀話ではある 劇中安來節を取り入れ其の効果を一段と昇せる近來の傑作

東北地方公開権は當館唯一
連続時代映画 『長江半之丞の巻』

料金— 特等大人六〇〇 小人三〇〇
普通大人四〇〇 小人一〇〇

日活 松竹 平館

六四四電

秋帽子とワイシャツ
玉屋洋品店
平町田町通り
電話六五六番

蒲ほこ製造
折づめ類仕出し
御惣菜用
さつまいも揚げ
吉原揚げ
平町一丁目
藤寅
電話一四一番

月掛漆器の頒布會
本場會津の特製漆器を選定し是れを御會員の方々に頒布するのす
松ノ組…二十圓
竹ノ組…十八圓 三種
梅ノ組…十七圓
毎月二圓(或は壽圓八拾錢、壹圓七拾錢)をお拂下されば抽籤の上物品をお渡し致します
恰度十ヶ月目に完了致します
◎見本はお電話か御書面次第持参致します
何卒御入會下さい
平町一丁目
和久井屋漆器店
電話四〇五番

平看護婦會
會長 清野キヨ
平字南町 電話三〇七番
看護婦派出の需めに應ず